

ミャンマー八角平和計画スタディツアー 参加者募集

2019年8月23日(金)～25日(日)、25日(日)～8月27日(火)

2013年から開始した八角平和計画は、八角の樹の植林開始から5年目を迎えた昨年夏、初めて結実を確認、現在も続々と結実の知らせが現地から届いております。

今年、八角を中心としたアグロフォレストリーのさらなる普及によって、農林業をベースとした住民の安定的な収入源の確保と自然環境保全を目指す、下記2地域へのツアーを企画いたしました。少数民族の風土風習に触れ、都市部と異なる固有の社会問題解決と一緒に考えてみませんか。

【訪問先】



ピンウーリン・ツアー

8月23日(金)～25日(日)

少数民族地域への玄関口であるミャンマー第2の都市・マンダレーMandalayから車で1時間半。英国領時代の別荘地としての面影が残るピンウーリンPyinOoLwinで、育苗場の管理をするほか、オーガニックアグロフォレストリーのワークショップ講師も務めるリス族牧師を訪ねます。



チン州ツアー

8月25日(日)～27日(火)

狩猟と焼き畑農業により生活してきたチン族の暮らす山岳地帯チン州ミンダツMindat。焼き畑による自然環境破壊から脱却するため、八角メインのアグロフォレストリーを州が推進するこの地域の育苗場管理者を訪ねます。Mindatへの起点となる世界遺産の町Baganにも立ち寄ります。

八角平和計画

- 育苗場
- 植林地

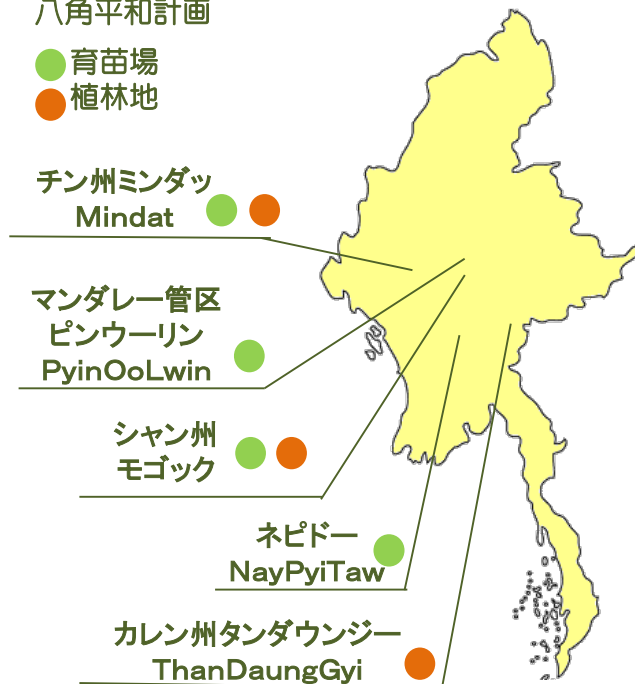
チン州ミンダツ
Mindat

マンダレー管区
ピンウーリン
PyinOoLwin

シャン州
モゴック

ネピドー
NayPyiTaw

カレン州タンダウンジー
ThanDaungGyi



八角平和計画とは

ミャンマーの少数民族地域で八角を栽培し、森林保全と新しい産業創出を図るプロジェクト。香辛料として利用される八角から、インフルエンザ治療薬タミフルの原料シキミ酸を抽出することが出来ます。将来的にはアジアでのジェネリック薬製造を目指します。





代金:

1ツアー(2泊)のみ参加・・・50,000円

2ツアー(5泊)参加・・・78,000円

※集合地から解散地までの交通費(車両)、宿泊費、通訳費、食費、八角苗株購入費を含む
※集合解散地までの交通費、旅行保険代、狂犬病ワクチン代は除く



スケジュール

八角平和計画研究所代表の林健太郎とミャンマーのフィールドマネージャーがご案内いたします。
8月23日から27日の全旅程に、日本のスーパーグローバルハイスクール指定校からの団体参加者がおりますのであらかじめご承知おきください。

ピンウーリン・ツアー

集合地:マンダレー空港(ヤンゴン空港より80分)

解散地:バガン市街地(最寄りのニャウンウーNyaung-U空港はヤンゴン空港より80分)

8/23 金	13時 ミャンマー第2の都市 マンダレーMandalay空港集合 英国領時代の別荘地ピンウーリンPyinOoLwinへ車両移動 【ピンウーリン 泊】
8/24 土	PyinOoLwinにて植林体験・観光後、 夕方、Mandalayに移動 【マンダレー 泊】
8/25 日	バガンBaganへ車両移動(10時着) 東南アジア仏教三大遺跡の一つである世界遺産バガン観光 夕方 解散 【2ツアー参加の場合はバガン 泊】

チン州ミンダッ+バガン・ツアー

集合地:バガン市街地(最寄りのニャウンウーNyaung-U空港はヤンゴン空港より80分)

解散地:同上

8/25 日	10時 バガンBagan集合 終日 東南アジア仏教三大遺跡の一つである世界遺産バガン観光 【バガン 泊】
8/26 月	焼き畑からの脱却を図るミンダッMindatへ車両移動 狩猟民族チン族の文化体験、農場視察 【ミンダッ泊】
8/27 火	15時 バガンに移動後解散